

2022年! 阿見町議会は笑顔あふれる
町づくりを目指します☆



➤ 6年生校外学習 (君原小学校)

コロナ禍で行事の中止が続く中、感染対策をしっかりとって日光東照宮へ校外学習に行つて来ました!
楽しい思い出が出来ました!!

2022



2ページ	審議結果 新教育長、決まる
8ページ	一般質問 10人の議員、町政を問う
14ページ	委員会活動 災害対応規程を制定
16ページ	議会活動 議会報告会を開催
20ページ	議会日誌 あみ議会だより愛称が決定



色がついている議案は、質疑または討論があった議案です。

12月定例会概要

令和3年第4回定例会は、12月7日から12月17日までの11日間の日程で開催された。初日には、町長から条例の一部改正、一般会計補正予算、人事案件を含む議案14件が提出され、人事案件1件を不同意とし、付託案件については、後日各常任委員会で慎重審議を行った。2日目から4日目までは一般質問を行い、10名の議員が登壇し、活発に町政を質した。最終日には、一般会計補正予算及び人事案件の議案2件が提出され、付託案件を含めた議案15件を可決した。

令和3年第4回定例会議案・審議結果
令和3年12月7日(初日)～12月17日(最終日)
QRコード: 初日, 最終日

■全議員が賛成した議案

議案名
阿見町児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正
阿見町国民健康保険条例の一部改正
阿見町国民健康保険税条例の一部改正
令和3年度阿見町一般会計補正予算(第6号)
令和3年度阿見町国民健康保険特別会計補正予算
令和3年度阿見町介護保険特別会計補正予算

議案名
令和3年度阿見町後期高齢者医療特別会計補正予算
令和3年度阿見町水道事業会計補正予算
令和3年度阿見町下水道事業会計補正予算
損害賠償の額を定めること(4件)
令和3年度阿見町一般会計補正予算(第7号)

■賛否が分かれた議案

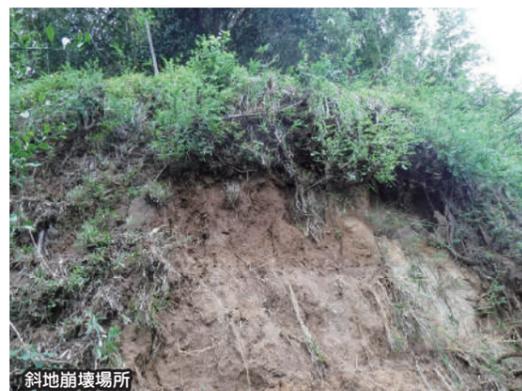
議案名	議案結果	賛否数	議員名																		
			賛成	反対	久保谷充	落合剛	栗田敏昌	石引大介	高野好央	樋口達哉	栗原宣行	飯野良治	野口雅弘	永井義一	海野隆	平岡博	川畑秀慈	難波千香子	紙井和美	柴原成一	久保谷実
阿見町教育委員会教育長の任命につき同意を求めること(湯原 正人氏)	原案不同意	8 9			×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×
阿見町教育委員会教育長の任命につき同意を求めること(立原 秀一氏)	原案同意	13 4			○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
コロナ禍による米価下落の対策を求める請願	不採択	4 13			×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×

※議長(久保谷充議員)は、賛否同数のとき以外は表決に加わりません。
※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は欠席を表します。

令和3年第4回定例会 総務常任委員会

令和3年度阿見町一般会計補正予算

- 問 災害対策費200万円の急傾斜地崩壊対策事業の、場所と内容は。
- 答 青宿鹿島神社の近隣で、現地への立ち入り、地質調査、工事の設計などを行う。



- 問 荒磯部屋連携推進事業で来年度に向けての取り組みは。
- 答 横断幕や懸垂幕、のぼり旗などの設置。来年度に向けて、町ホームページに力士の紹介、勝敗の情報などを掲載するとともに、荒磯親方に、あみ大使への就任や講演会を依頼する。また、部屋を見学するバスツアーや保育所などへ力士の訪問、相撲教室、相撲大会などを企画していきたい。



令和3年第4回定例会 民生教育常任委員会

阿見町児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正

- 問 学校区児童館閉館に伴う、二区児童館の受け入れ態勢は。
- 答 2つの児童館の開催日が違うことや、施設のスペース、人員は確保されているので心配ない。

令和3年第4回定例会 民生教育常任委員会

令和3年度阿見町一般会計補正予算

- 問 新型コロナウイルスワクチン接種事業のバス運行委託料は。
- 答 バスの対象者は1,300人ほどで、5日間の運行を考えている。前回バスに乗車された方を対象としており、バスに乗車していない方は対象にならない。
- 問 昨年も支出した修学旅行キャンセル料の契約は。
- 答 契約は各学校に任せられているので、町から具体的な指示は出していない。



令和3年第4回定例会 産業建設常任委員会

令和3年度阿見町一般会計補正予算

- 問 地域公共交通維持確保支援金の内容は。
- 答 道路法による旅客自動車運送事業の許可を国から受けて旅客運送事業を行っている事業者が対象で、今年度は新規で貸し切りバス事業者も対象としている。
- 問 道路橋梁管理費の廃棄物等処分委託料の内容は。
- 答 道路敷地に不法に投棄された廃棄物等の処分委託料で、今年度は9月末までに道路敷の不法投棄だけで6件発生しており、当初予算の不足分を増額する。
- 問 道路橋梁維持補修事業の場所は。
- 答 計算センターの交差点から荒川沖方面へ向かっての約230メートルと、三区公会堂前付近から、倉持商店前の交差点までの延長約292メートルの合計522メートルの舗装復旧工事。





教育長人事に賛成



野口 雅弘 議員

教職員の人事に関して、湯原氏はいい人を引っ張る力があると聞いている。学校というのは、どれだけいい人を引っ張ってこられるかという人事権が一番の大事なことで考え、湯原氏にはその力が必ずあると思うので、賛成する。



栗田 敏昌 議員

PTA 役員の立場からも接してきたが、保護者の意見にメモを取る姿勢を見て好感を持ち、教育への熱意を感じた。コロナ対応や GIGA スクール構想においても対応できていた。何かを疎かにしているのなら、不満が出るのはわかるが、何も怠っておらず迅速に行動していたのは評価に値する。



石引 大介 議員

議会に求められていることは、子どもたちがこの先も安心して学べる環境をどう構築していくかだ。湯原氏は在任当時、子どもたちのことを考え、職責を全うし、数々の功績をあげられた。中でも君原小学校に小規模特認校制度を導入し、素晴らしい学習環境を整備したことを高く評価する。



永井 義一 議員

この時期の教育長不在は、阿見町の教育にとって非常にマイナスである。今各市町村の教育長は、来年度に向けて先生方の人選を行っている時で、この時期に教育長が不在という事は良い先生を阿見町に迎えることができない。よってこの人事案件に賛成する。



樋口 達哉 議員

町長の執行権に関わる「教育長人事」が不信任されるのは前代未聞だ。教育行政の空白化を招き、阿見町は教育異常事態宣言中となった。「悪いところがあれば受け止め、直します。」という湯原氏に、疑義があれば質し、善導するのが議会の使命ではないのか。



久保谷 実 議員

第二小の問題は、学校が無くなると地域の大きな拠り所がなくなってしまうと、区長さんを中心に立ちあがり、84%の署名を町に提出し、令和5年4月の阿見小への統合はなくなった。現在は町内で初めてのコミュニティ・スクールとして地域住民と一緒に頑張っている。こんな判断をしてくれた湯原氏に賛成する。



海野 隆 議員

教育長職務は多岐にわたっているが、特に教員人事が重要な職務だ。部活や教科指導、必要と思われる人材を交換する折衝は教育長しかできない。教育長不在は、阿見町の教育と子どもたちにとって非常なマイナスだ。町長提案に賛成する。



難波 千香子 議員

あさひ小学校の通学区域について「朝日中学校区児童生徒数将来推計調査」を実施し、荒川本郷地内の本郷二丁目と上本郷の一部地区の制限解除、適切な通学区域の見直し、義務教育施設、保育施設の検討に努めるなどの点を評価し、賛成する。

採決の結果、阿見町教育委員会教育長の任命につき同意を求めること（湯原正人氏）については賛成少数で不同意となった。

令和3年
第4回定例会

阿見町教育委員会教育長の任命につき同意を求めること（湯原正人氏）



その人事にちょっと待った！ 教育長選任にもの申す

質疑

問 9月14日に不同意となり約3か月間、任期が切れてから約1か月経っている。これだけの期間を空けて、再度同じ方を推薦した理由は。

答 教育行政が大事な今、期間を空けてしまったことはお詫びを申し上げたい。熟慮した結果、湯原正人氏が最適任ではないかと思っている。

問 教育長不在による支障は。

答 これから先生方の人事という最大の任務があり、大変な支障が及ぶのではないかと判断したので反対する。

反対
します

高野 好央 議員



スピード感が求められる現代に於いて、有事の際の判断・対応が余りにも遅くズレているのは致命的。今後さらに ICT の重要性が高まっていく中、ICT への意識の低さは問題である。以上の理由から今後3年間、教育行政のトップを任せよう方ではないと判断したので反対する。

飯野 良治 議員



議会での一般質問への答弁、第二小検討委員会・実穀小跡地利活用に関する説明会での挨拶・説明に接し、世間話的な表現と政治的な対応に終始し、教育行政に見識がある者とは、感じられなかった。教育・学術・文化について大所高所から教育行政を判断できる人が望まれる。

落合 剛 議員



高野議員と全く同じ内容で反対する。

栗原 宜行 議員



教育委員会は住民への説明責任の観点から、自ら点検評価した報告書を議会や住民に公表しなければならないと法律で定められている。県や県内ほとんどの市町村で公表されているのに、なぜ阿見町はいまだに法令違反を続け公表しないのか。人事のみに注力した方の再任人事案に反対する。

柴原 成一 議員



第二小学校の統合問題に関し、正式な手続きを経て決定された方針が、状況や環境の大きな変化もなく、撤回・統合延期されたのは、教育行政の一貫性・継続性・信頼性を根底から崩す行為であり、指定校変更制度を利用し、阿見小学校に通学している児童の保護者への対応は適切だったとは言えない。

吉田 憲市 議員



第二小の統合問題で、アンケート方法の曖昧さから、もう一度きちんとアンケート調査することを提言したが、されなかった。また、指定校変更制度を利用して阿見小に通っている子どもの気持ちを度外視したような対応であった。このような判断をした方は教育行政のトップとしてふさわしくない。



令和3年
第4回定例会

阿見町教育委員会教育長の任命につき同意を求めること(立原秀一氏)

新教育長決まる



問 第二小学校の存続と実穀小学校の跡地利活用の具体的対応は前任者と同じという理解でよろしいか。
答 その通りです。

高野 好央 議員



学校再編検討委員会委員として統廃合の道筋をつけてきた方が、教育委員となって統合延期を承認した判断は、教育行政のトップを任せるにあたり、一貫性・継続性・信頼性に疑問を持たざるを得ない。所信表明の内容も、再任不同意となった前教育長の方針を引き継ぐと感じたのでこの人事案に反対する。

飯野 良治 議員



教育長は政治的な中立性が必要であるが、立原氏の所信表明では触れられなかった。一番大事な要素に触れず、不易流行を力説しても、人事管理に教育は人なりを掲げるようでは、前任者とかかわらないと言わざるを得ない。

柴原 成一 議員



立原氏は、平成25年から学校再編計画に携わっており、その方が教育委員として教育の継続性、一貫性について否定するような行動をしたということで、反対する。



永井 義一 議員

議会初日の教育長人事案件でもそうですが、教育長の不在で教育委員会は非常に困っていると思う。実際に来年の3月に先生方の異動があり、人事をしっかりやらなければ、阿見町子どもたちにとって良い先生は来ません。そこを充分に考え、これ以上教育長が不在ということにはできません。



海野 隆 議員

立原さんは、当初民間の企業に勤められ、その後一貫して学校、教育現場、3年間は児童相談所に所属するなど、今、阿見町で求められている教育の中で、最も重要な経験をされていると思う。識見、人格ともに高く評価でき、選任に同意する。



野口 雅弘 議員

2回否決され、教育現場では教育長がないということで大変困っている。それを理解しないで、聞いていてもわからない理由で反対しているが、私はどうしても教育現場に教育長を置きたいので、同意する。

採決の結果、阿見町教育委員会教育長の任命につき同意を求めること(立原秀一氏)については賛成多数で同意した。



たちはら しゅういち
立原 秀一 (66歳) 阿見町大室

経歴 昭和54年4月～茨城県公立学校教諭
平成12年4月～平成15年3月 知事部局土浦児童相談所
平成24年4月～平成26年3月 阿見町立朝日中学校校長
平成26年4月～平成28年3月 阿見町立阿見中学校校長



令和3年
第4回定例会

コロナ禍による米価下落の対策を求める請願



吉田 憲市 議員



コロナ禍で大変な思いをしているのは農業者だけではない。農業を守るといって、食の安全保障の観点から、直接米の買い取りによる米価の安定を図ることではなく、農業者への直接の戸別所得補償の充実への見直しや農業者への支援をしていただくべきである。



飯野 良治 議員

日本は自給率100%の米さえもミニマムアクセス米として年間77万トンも輸入している。今年度産の米価は生産費を大きく割り込んでおり、農家は米生産を続けられない。地域の農業を守り、環境保全を進めるための農業者への直接支援と、困窮者向けの農作物提供の実現のために賛成する。



海野 隆 議員

米価下落の原因は新型コロナ禍で外食産業のコメ需要が激減し、在庫が積み上がっていること等が要因として挙げられている。請願は正に米農家の厳しい状況に対して緊急避難的な対策を求めるもので、地域の実情を政府に伝えるのは地方議会の責務であり、賛成する。



永井 義一 議員

コロナ禍の中、外食産業などの米の国内需要も減少し、過剰在庫が起きています。政府は農家に対する支援策としてお米を買い入れ、米の需給環境を改善して米価の下落を抑えることが必要だと考える。また、不要なミニマムアクセス米の輸入数量を調整して、国内産米に切り替えることが必要だ。

採決の結果、コロナ禍による米価下落の対策を求める請願は不採択となった。



一般質問

10人の議員 町政を問う！

一般質問は、議員が町政全般に対して現状の確認や方針を問うものです。掲載している内容は、質問者の確認のもと要約し、議会だより編集委員会が校正したものを掲載しています。

動画視聴 動画でご覧いただけます

議会の様子の録画を下記から公開しています。
【YouTube チャンネル『茨城県阿見町議会』】
① QRコードを読み込んで視聴できます。



議会議傍聴 手続きは簡単 ぜひ傍聴してみてください

議会の傍聴を希望される方は、会議の当日に役場3階議会事務局までお越しください。

- ①傍聴受付証の交付を受けてください
- ②傍聴受付証は先着順にお渡しします
- ③傍聴席数は次の通りです
本会議 30席・委員会 9席・全員協議会 7席

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため傍聴席数が増える場合があります



▲「創作の時間」ペン立てづくり（やすらぎの園）



難波千香子議員

誰一人取り残さない福祉・教育



問療育体制の充実のため、児童発達支援センターの設置は、障害児支援の提供体制の整備を図るため、近隣市町村の情報を収集しながら検討し、障害児支援の充実を進めていく。

答子ども家庭総合支援拠点を設置し、支援体制を整備してはどうか。

問令和4年度中の拠点設置に向けて、体制の整備を図っている。

問インクルーシブ教育と特別支援教育の現状と課題。

答各校では、特別支援教育コーディネーターを中心に取り組んでおり、

特別支援学級在籍の児童生徒への支援だけでなく、協働的な学びの保障を目指している。障害の多様なニーズへの対応が課題。スクीलカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを積極的に活用し、特別支援員の増員を今後も検討する。

問適応指導教室「やすらぎの園」「中学校不登校支援教室」の取り組みと成果は。

答令和2年度に中学校に不登校対策室を設置して「やすらぎの園」と連携し、生徒への支援をしてきた。その結果、欠席の長期化を防いだり、スムーズな学校復帰につながったりしている。「やすらぎの園」では、中学生が中心だったが、少しずつ小学生の割合が増えており、今後は、小学生への支援をより充実させたいと考えている。

- 【その他質問事項】
- 子宮頸がんワクチンについて
 - 高齢者の安全対策について



高野好央議員

実穀地区公民館整備の進捗状況を伺う



問内閣府の地方創生拠点整備交付金の申請条件は。

答総合戦略に位置付けている事が前提で、新築・増改築が対象であり、修繕は対象外。

問申請条件にあてはまるのか。

答条件にあてはまるとして準備を進めている。

問小学校敷地内に2631㎡の民地があるが、地権者は何名いるのか。

答何名いるかは把握していない。

問土地の用途（使用目的）が変わるので地権者への説明はしたのか。

答改修する建物は町所有の土地の中にあるので説明しなくても問題ない。

問従来の事業は、町の最上位計画である「総合計画」の策定に於いて、審議会の議論のもとに位置付けし予算化され、事業執行となっていくことが原則だと思う。これだけの規模の事業が計画に位置付けなく、全ての町民に示されないまま事業化されることはあってはならない事だと思うが、実穀地区公民館整備事業は町の上位計画に位置付けられているのか。

答公民館・ふれあいセンターの充実として位置づけられている。

問今後30年間で、公共施設建築物の延べ床面積20%削減を決定した「公共施設等総合管理計画」との整合は図られたのか。

答学校の一部改修なので、面積は減少していないがが増えてはいない。



海野隆議員

来年2月に実施される町長選挙



問1期目4年間の千葉町政の総括は。

答6つの約束と24の政策公約を掲げ、「未来に責任を持てる魅力あるまちづくり」の実現のため、就任後すぐに「阿見町政策実現プラン」を策定し、町民の皆様に政策の内容と進捗状況を分かりやすく伝えながら、全力投球で誠心誠意努めてきた。多くの課題がある中で、選択と集中による財政の健全化に取り組みながら、住民参加によるまちづくりを常に念頭に置き、町政運営を行ってきた。その成果は、

着実にあらわれてきていると感じている。また、この一年半余りは、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、医療体制の構築や町民生活への支援に力を注いできた。

問2期目の町政運営に関する意気込みは。

答現職の町長として、当然、出馬の検討をしている。政策についてしっかりと示すことが大事だと考えており、今まとめた5つの年内的に示すべき時期が来たら、私の意思を表明したい。

問今後4年間の町政の課題や取り組むべき施策は。

答1. 人口5万人を目標とした市制施行に向けた準備、2. 地域予算の構築による地域コミュニティの創造、3. SDGsの自治体での推進、4. 広域化も含めたごみ処理施設の老朽化対策、5. 来年5月に開所を予定している荒磯部屋との連携や支援

QRコードからアクセスすると各議員の質問（録画動画）が視聴できます



▲実穀地区公民館整備事業対象の旧実穀小学校

問今後30年間で、公共施設建築物の延べ床面積20%削減を決定した「公共施設等総合管理計画」との整合は図られたのか。

答学校の一部改修なので、面積は減少していないがが増えてはいない。



▲阿見町 PR 映像



いじめの現状把握と対策



問 阿見町のいじめの認知件数は。

答 令和3年度7月時点の調査では、町内ではいじめの疑いを含み、160件を認知し、各学校において対応した。今後も積極的に認知し、早期発見、早期対応に努める。

問 いじめをさせないための方策は。

答 学校、地域住民、家庭はもとより、社会総がかりで取り組む必要がある。まずは、大人が、建設的な議論により、折り合いをつけながらよりよい社会を目指す姿を見せ、子供の模範になることが大切。学校では、道徳や特別活動などの



▶「いじめ」イメージイラスト
出典：総務省
https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00155.html

教科等その他、学校教育活動全体を通じて、いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりのために、いじめの防止に資する多様な取り組みを年間を通して計画的に実施している。

問 いじめを見逃さない方策は。

答 教職員による日々の表情や行動の観察、連絡帳や生活記録等を通しての相談、定期的なアンケートの実施と個別の教育相談の実施と情報の共有、各学校の「いじめ防止基本方針」について全教職員での理解、SOSの出し方に関する教育、相談窓口の周知などの取り組みをしている。

問 いじめに向かわせないための方策は。

答 日々の分かりやすい授業の展開を基盤として、互いの違いを認め合い理解しながら、自分と同じように他者を尊重する態度を育てることが重要だと考える。

紙井和美議員



人格形成に重要な幼児期の教育



問 幼稚園・保育所から小学校へ円滑に進める「幼児小の架け橋プログラム」の見解は。

答 県の通知等を確認したい。

問 学校の空き教室を利用し保育施設の整備をしてはどうか。

答 児童と幼児が交流でき教員と保育士の理解も深まる等、教育・保育双方への効果も期待できる。将来の児童数予測が難しい状況だが、幼児小に向けた方向性を関係部署と検討する。

問 保育士の処遇改善助成金に町で上乗せ補助ができないか。

答 上乗せは考えていない。

問 保育士の働き方改革。なり手不足の対策は。

答 国の補助で保育補助者の雇上げ、事務軽減にICT化、および勤務



▶出典：国立教育政策研究所 文教施設研究センター
～学校施設の有効活用に関する調査研究報告書～

先の相談支援を行っている。

竹林整備と竹利用で町おこしを

問 東京農大との連携による竹林整備事業の現状と課題。

答 港区と交流事業に取組んでいる君島地区の聞き取り調査で、住民の高齢化や荒廃竹林の拡大等の課題が明らかになり、竹林整備・再生作業のモデル地区として定期的にワークショップを開き、地域住民の意識改革を図っている。

問 伐採した竹を加工して販売できないか。SDGsでも注目されている「竹炭」はどうか。

答 現在は粉碎した竹を圃場内に敷きならしている。将来的には竹材を有効に活用する必要があり、消臭やインテリア等「竹炭」は需要が期待できる。環境に配慮した取り組みには大学等と連携を図り支援していく。

永井義一議員



国民健康保険税の2方式化



問 県からの国保納付金のシミュレーションはあったのか。

答 県からきた仮算定の納付金額が大幅に増えており、再度見直された納付金額が示され、現在確認している。

問 いつごろまでに税率や金額がきまってくるのか。

答 年内にはシミュレーションを行い、2月上旬には決めたい。

問 今回の賦課方式は2方式になるため子育て世帯での負担が大きくなる。子ども一人当たりの公費負担は幾らか。

答 実際の公費負担額は県で算定した納付金額を基に計算する。

問 具体的に値上げになる世帯を無くす考えはあるか。

答 増税となる世帯については、激変緩和措置で緩やかな増加になるよう検討する。
問 令和2年度の繰越金6億8千万円は今年度どのように活用するか。

答 今年度は補正予算において支出が発生した場合に活用したい。

水道事業

問 県の水道ビジョンでは、人口減少による給水量の減少をあげているが、町は契約水量の変更を求めているのか。

答 中長期的な水需要に基づいて算定しており、令和元年度の水需要の調査で見直しは行わなかった。



▲上郷配水場

【その他質問事項】
○若者の投票率向上について

落合剛議員



阿見町内の清掃活動



問 道路里親制度及び町民が利用できる清掃に関する制度やサービスの周知方法は。

答 道路里親制度については、里親活動の内容や里親となる要件及び補助金の交付を始めとした町の支援内容などについて、要綱や申請書類とともに、町ホームページに掲載し広報みや区長会においても周知を図っている。そのほか、道路の清掃や美化に関心のある方には、個別に道路里親制度をご案内している。また、町民が実施する清掃活動についても、道路里親制度と同様の周知を行っており、「ミニクリーン作戦」として、行政区等が自主的に清掃活動を実施する場合は、町からごみ袋の無償提供や収集ごみの回収等を実施している。

問 プロギングというジョギングと清掃を掛け合わせた、自身の健康促進と環境美化活動を両立できるイベントが、近年全国的に開催さ

答 当町では、スポーツと環境美化活動の要素を併せ持つ「スポーツごみ拾い大会」を、一般社団法人ソーシャルスポーツインシアチブ、あみプレミアムアウトレットとの共催で、平成26年度から4回開催している。「プロギング」についても、健康促進と環境美化活動を両立できるイベントであり、開催について検討する。



▲里親制度を利用した清掃活動ボランティアの様子



柴原成一議員

阿見町の農業政策



問 農業者への支援策は。

答 国や県による助成事業のほか、町独自の支援も行っている。

問 最近の畑作ではジャガイモの後作にソバが作られているのを見かけるが、農業者にとっての課題は把握しているか。

答 ジャガイモの裏作としてのソバの作付け等に代表される生産技術に関する課題、耕作放棄地や農地集約等の農地に関する課題、農繁期における人手の確保、後継者、新規就農者、多様な担い手確保等の人材に関する課題などがある。これらの課題に対しては、県やJA、大学等と連携を図りながら、ひとつひとつの課題解決に向け取り組んでいる。

問 農業には農閑期があり、農閑期には売り上げがない。何か対策は。

答 単一作物での営農ではなく、農繁期の重複しない作物との複数品目を扱う営農への転換や、六次産業化等への取り組みにより、年間



▲落花生の脱粒

を通した売り上げが期待できる。

町では、県やJA等と連携を図りながら、農業の担い手の意見に耳を傾け、引き続き必要な支援や奨励を図っていく。

問 阿見町の農業ビジョンは。

答 阿見町の特徴である都市近郊型農業を進めるため、東京農業大学と連携し、ビジョンを作成していきたい。



栗原宜行議員

阿見町は土地利用の変化にどのように対応していくのか



問 いわゆる自衛隊基地周辺の土地利用規制は、私たちの生活にどのような影響があるのか。

答 具体的な内容は判明していないが、国が指定した区域内において、土地等の所有者の氏名や国籍等の調査を行うことや、土地等の売買を行う際に届出を義務付けることなどの措置とともに、違反等があった場合の罰則についても定めている。

問 太陽光発電設備の開発許可や規制についてどのようにしていくのか。

答 県は太陽光発電施設の適正な設



▲対象とされる自衛隊基地周辺

置・管理に関するガイドラインを施行しており、このガイドラインの遵守を徹底するよう指導していく。

甘藷(サツマイモ)栽培による農業振興

問 町は甘藷栽培について、どのような取り組みをしているのか。

答 茨城県かんしょトップランナー産地拡大事業と連携し、甘藷の産地育成に取り組んでいる。令和3年度もさらに12・3ヘクタール拡大し、生産者数も増加の傾向となっている。

問 甘藷栽培農家に、今後どのような支援策を実施するのか。

答 新たな生産者には苗代の一部助成や、機械化・施設整備による大規模農業経営を目指す担い手には、県単事業等支援策への誘導を図ることで、甘藷の生産拡大につなげていく。



川畑秀慈議員

阿見町のハラスメント防止対策



問 ハラスメントの相談体制は。

答 「阿見町ハラスメントの防止に関する規程」に基づき、「職員団体が推薦する職員、男女各1名」、「人事・福利厚生を担当する職員、男女各1名」、「その他町長が必要と認める職員」として「男女共同参画を担当する職員1名」の計5名をハラスメント相談員として任命し、この5名のほか各所属長も相談窓口となっている。

原則、相談員2名で聞き取りを実施し、状況や案件の性質に応じて被害の拡大防止のための対応を図り、必要に応じて、副町長を委員長とする「ハラスメント苦情処理委員会」を開催する。委員会では、相談者や関係者のプライバシーの保護に配慮しながら、関係者等に対し必要な調査を実施し、実態の把握を行う。

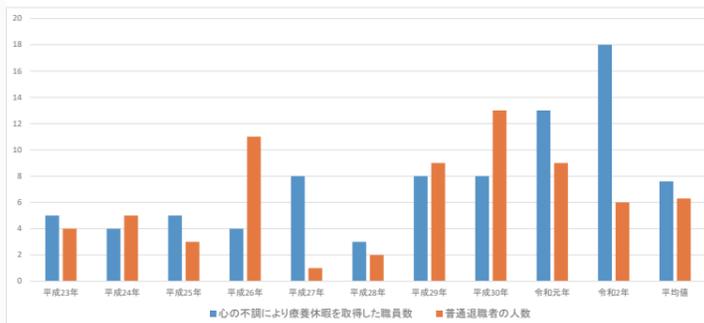
問 今後のハラスメント防止対策は。

答 職員等に対しては、規程や指針

等の周知徹底を図るほか、日々変化するハラスメントの形態等、社会情勢にあつた内容の研修を継続して実施する。相談員等に対しては、相談内容や状況に応じて適切に対応できるよう、相談力向上のための勉強会等を開催したい。

阿見町役場における過去10年間の心の不調により療養休暇を取得した職員数と中途退職者(普通退職)の人数

年度	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	平均値
心の不調により療養休暇を取得した職員数	5	4	5	4	8	3	8	8	13	18	7.6
普通退職者の人数	4	5	3	11	1	2	9	13	9	6	6.3



議会日誌

- | | | |
|--|---|--|
| <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> 29日 牛久市・阿見町斎場組合議会全員協議会 29日 牛久市・阿見町斎場組合議会定例会 29日 龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会 <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> 5日 全員協議会 7日 議会報告会 7日 総務常任委員会所管事務調査 8日 予算決算特別委員会 8日 議会改革等調査研究特別委員会 8日 産業建設常任委員会所管事務調査 11日 議会報告運営委員会 16日 学校給食試食会 16日 デモテック中間報告会研修 16日 稲敷地方広域市町村圏事務組合議会全員協議会 18日 学校給食試食会 19日 民生教育常任委員会所管事務調査 21日 議員研修会 21日 議会改革等調査研究特別委員会 29日 全員協議会 30日 議会運営委員会 | <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 7日 本会議 7日 産業建設常任委員会 8日 本会議(一般質問) 9日 本会議(一般質問) 10日 本会議(一般質問) 10日 全員協議会 10日 議会報告運営委員会 13日 総務常任委員会 13日 民生教育常任委員会 14日 産業建設常任委員会 14日 全員協議会 14日 議会運営委員会 17日 全員協議会 17日 本会議 18日 議員研修会 18日 議会改革等調査研究特別委員会 | <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> 11日 議会だより編集委員会 13日 議会改革等調査研究特別委員会 17日 議会だより編集委員会 18日 全員協議会 18日 議会運営委員会 18日 議会報告運営委員会 |
|--|---|--|



産業建設常任委員会

令和3年11月8日 阿見町内

中央東地内調整池整備工事、都市計画道路寺子・飯倉線整備工事現場視察

中央東地内調整池整備工事、都市計画道路寺子・飯倉線整備工事の現場を視察した。
中央東調整池工事は、雨水流出量を一時的に抑制し、大雨時の被害の軽減を図る工事であり、竣工は令和4年3月を予定している。
寺子・飯倉線の今年度工事は、総延長約1,040メートルであり、路床置換工、下層路盤工、側溝工等の工事で、竣工は令和4年3月を予定している。なお、寺子・飯倉線の柏根交差点までの開通は、令和6年度を予定している。



中央東地内調整池整備工事



都市計画道路 寺子・飯倉線

議会改革等調査研究特別委員会

議会改革等調査研究特別委員会では、「防災部会」を中心に、「阿見町議会災害対応規程」「阿見町議会災害対応マニュアル」を作成し、令和3年12月に制定した。これまでも数回の訓練を実施しながら検証を重ねてきたが、引き続き定期的に訓練を行い、有事に備える。

◎阿見町議会災害対応規程

地震等の災害が発生したときには、町議会災害対策会議を設置し、町災害対策本部の災害対策活動を支援し、町民生活の早期安定及び復旧を目指すもの。

◎阿見町議会災害対応マニュアル

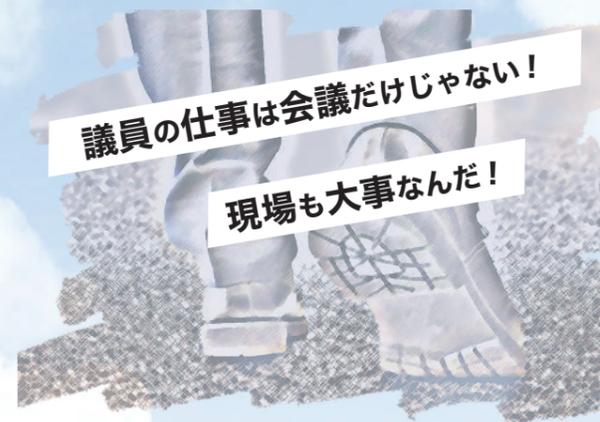
町議会災害対策会議が設置されたとき、時間の経過とともにどのように行動すべきかを具体的に示したもの。



マイ・タイムラインを作成



マップ・マヌーバ（図上訓練）



総務常任委員会

第13分団の新規導入消防車を視察研修

令和3年11月7日午後1時30分から、阿見消防署において、阿見町消防団第13分団（飯倉・飯倉二区・大形地区）消防車両の命名式が行われた。

消防車は車両本体及び積載ポンプ等の経年劣化と、部品調達を考慮して、運用開始から約20年を目安に更新される。

当該消防車は阿見町に46番目に配備されたもので、オートマチック型式車で無給油真空



阿見町消防団第13分団消防車両命名式

常任委員会・特別委員会 委員会活動

Until January 2022

各議員が専門的な委員会に分かれて、議案や請願・陳情などの審査、視察や研修を行う各常任委員会の活動をご報告します。

委員会の仕組みについては下記をご参照ください。
<https://www.town.ami.lg.jp/0000000990.html>



令和3年11月7日 阿見消防署



納入された46号車



機能説明



コントロールパネル



電動昇降機

ポンプや可搬ポンプ積載装置（動力式）を搭載し、先進安全技術対応（衝突被害軽減ブレーキ・車両安定性制御装置・車線逸脱警報装置）を装備している。

民生教育常任委員会

阿見町立あさひ小学校でICT教育視察

GIGAスクール構想にともなうICT教育の整備運用状況を調査するため、あさひ小学校を視察した。

本年9月に電子黒板が各普通教室に1台配置されたことにより、1人1台端末や校内無線LANなどICT

令和3年11月19日 あさひ小学校

機器が整い、機器を駆使した授業が展開されていた。

しかし、インターネットへの最大接続数が100台程度のため、端末を使用するクラスの調整が日々必要なことやWi-Fi環境が整っていない家庭に対するLTE通信環境（モバイルルータ）等の支援がないなど課題も見えた。議会としても解決策を提言していく。



タブレット端末を使いこなす小学校低学年の授業風景



電子黒板を活用した授業風景



特別教科（音楽）でもICTを取り入れた授業風景

進・議・帯 議会活動

Until January 2022

議会が一丸となって二元代表制の一翼を担うべく、町政運営の調査・監視及び評価を行い、政策の立案・提言を行っています。



広報研修会



学校給食試食会

議会では年に1度、学校給食試食会を実施している。学校給食センターでは、町立保育所3箇所、小学校7校、中学校3校の1日4,500食を調理している。季節に合わせた阿見町産・茨城県産食材を使用する「地産地消」に力を入れており、今年の試食会では「茨城を食べようWeek」ということで、阿見町産の米や野菜、茨城県産の肉や豆腐を使った献立をいただいた。金属探知機2台と野菜洗浄機1台も導入されており、安心安全な給食が提供されていた。



- 〈11月16日〉
- ・牛乳
 - ・県産鶏肉の甘だれかけ
 - ・県産野菜のボン酢和え
 - ・ごはん
 - ・茨城いっぱいみそ汁

- 〈11月18日〉
- ・牛乳
 - ・県産豚肉のおろしソース
 - ・県産野菜のキムチ和え
 - ・ごはん
 - ・茨城いっぱいら玉汁

ひろまさ 議会改革アドバイザー岩崎弘宜氏による議員研修会

阿見町議会 第5回 議員研修会開催

令和3年10月17日 本郷ふれあいセンター



テーマ：9月定例会の決算審査を振り返って

9月定例会で決算審査のほか、争点となった議案があったため、最初に「討論とは」ということで、討論は何のために行うのか、再確認した。決算審査については、令和3年6月には当初予算、決算及び事務事業を一体的に審査・調査することを目的として予算決算特別委員会を設置し、決算を次年度以降の予算に反映させるため、令和2年度の重点事業を選定し、事務事業調査を行った。また、今回からYou Tubeでの配信もスタートし、委員会の運営方法の見直しも図った。

研修では決算審査の目的を再確認し、町民がよりわかりやすい資料、質疑となるよう改善を図ることとした。また、議員間での認識の相違があったことについて、18名の全議員が共通理解を得るためにどうすればよいか、グループで対話をし発表した。



阿見町議会 第6回 議員研修会開催

令和3年11月21日 阿見町役場



テーマ：決算審査を振り返り、予算審査に向けて

研修では、決算審査の意義を再度確認した上で、9月定例会の決算審査での質疑を会議録で振り返り、決算審査にあたって適切であった質疑、そうでなかった質疑を確認した。

適切でなかった質疑については、具体的にどの部分が適切でなかったのか、どのように改善していくべきか等を共有した。研修の最後には、グループごとに次回に向けて何をしていくべきかを話し合い、「事前調査」「議員間の情報共有」などが挙げられた。



阿見町議会 第7回 議員研修会開催

令和3年12月18日 中央公民館



テーマ：議論を尽くす議会に「討議」

はじめに、12月定例会で争点となった教育長の同意に関し、討論の内容や表決方法について、会議規則や地方自治法に基づいて確認した。

次に、「討議を尽くす議会」には何が必要か、ワールドカフェ方式で話し合い、各グループから最も重要だと思うことを発表した結果、どのグループからも「相手の意見を尊重し、相手の話を聴く」という意見が出た。また、岩崎氏から「事前調査」が重要であることが話された。

最後に、「この1年間で阿見町議会のここが変わった」ということを1人ひとり発表し、拍手で称え合い、令和3年最後の研修とした。

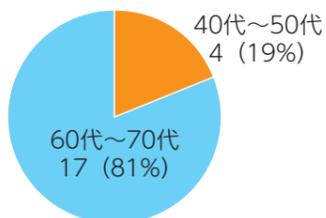


議会報告会アンケート集約

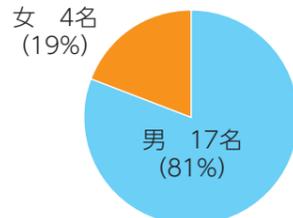
アンケート回答者 21名 / 参加者 21名 (回収率 100%)



Q1 年齢



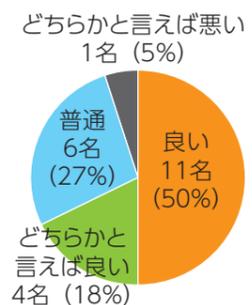
Q2 性別



Q3 この報告会をどちらで知りましたか？

議会からの案内	4名 (19%)
広報あみ	3名 (14%)
あみメール	2名 (10%)
議会・町のホームページ	0名
議員の紹介	8名 (38%)
その他	4名 (19%)

Q4 議会報告会の全体の印象



* (複数回答があり母数が22です)

Q5 現在、本会議の他、委員会、全員協議会も傍聴可能ですが、議会を傍聴したことはありますか？

ある 11名 (52%)
 ない 10名 (48%)

Q6 阿見町議会では一般質問や本会議についてはインターネットで中継していますが、インターネットで視聴されたことはありますか？

ある 7名 (33%)
 ない 14名 (67%)

リアル議会を傍聴された方で、インターネットでも視聴された方 4名 (19%)
 リアル議会を傍聴された方で、インターネットでは視聴されない方 7名 (33%)
 リアル議会は傍聴されない方で、インターネットは視聴された方 3名 (14%)
 リアル議会の傍聴もインターネットでも視聴されない方 7名 (33%)
 何らかの方法で議会傍聴されている方は、 14名 (67%)

インターネット視聴をされたことのある方 (7名) の年齢層
 40代から50代 2名
 60代から70代 5名

Q7 Q4 で良い、どちらかと言えば良い、と回答された皆さんにお聞きます。どのようなところが良かったですか？

- ・ 議場とは違った議員さんが見られてよかった。
- ・ 直接、議員さん達とお会い話を聞いた。
- ・ グループ討論もいろいろ意見が聞けてよかった。
- ・ 意見交換会を設けたこと。

Q8 Q4 で悪い、どちらかと言えば悪いと回答された皆さんにお聞きます。どのような改善の余地がありますか？

- ・ 悪い点：私はBだったが、AやCの声が聞こえて、B内の話がしづらかった。
- ・ 公的人事の任免理由は、常にオープンにすべきだ。この常識が通用する議会になることを望む。

Q9 映像による審議の様子をご覧いただきましたがいかがでしたか？

- ・ ユーチューブを見ればわかることだが、見れない人もいたので、まあまあ良かったのかな。
- ・ 事前に良く打ち合わせされている様で、スムーズな審議でした。

その他 ご意見を自由にお書き下さい

- ・ 住民ニーズを掴む (吸い上げる) 方法がもっと必要と感じます。
- ・ グループ分けでの町への提言、問題等を話し、グループ分けでの発表があり、住民の意見を聞く場所があり参加して良かった。次も参加したい。
- ・ 行政、行政区、議会、個人、etcの役割分担。

第6回議会報告会

令和3年11月7日 中央公民館



11月7日、中央公民館において「第6回議会報告会」を開催した。今回の参加者は認定農業者連絡協議会から2名、企業連絡協議会から3名、一般参加者16名、議会・事務局関係22名と、総勢43名が参加した。

今回は、第1部と第2部に分け、2部の意見交換会では初めて「分散会」という形で行った。

第1部の予算決算特別委員会の報告は、前回の反省も踏まえ映像をよりコンパクトにし、わかりやすくした。参加者からのアンケートでも、「わかりやすかった」「会議の運営は変化があって飽きない」「文字面だけよりも口調や表情、仕草からも情報が得られる」等の評価をいただいた。



意見交換の様子 (農業関係)



意見交換の様子 (企業関係)

第2部の分散会は、農業関係、企業関係、一般と3つのグループに分かれ、それぞれのグループに議員も入り、関連する課題等の意見交換を行った。

分散会での意見交換の主な内容は、農業関係のグループでは、サツマイモの生産では秋冬の収入が安定しないという問題があり、倉庫があれば春まで出荷できるので倉庫建設費の補助が欲しい等の話があった。

企業関係のグループでは、プレミアム商品券や振舞酒事業の考え方、また中小企業で人員の募集をかけてもなかなか集まらない問題等の話があった。

一般のグループでは、コロナ禍で子どもたちの教育・成長が心配だという話や、地域予算制度、旧実穀小の跡地利活用、防災等の話があった。

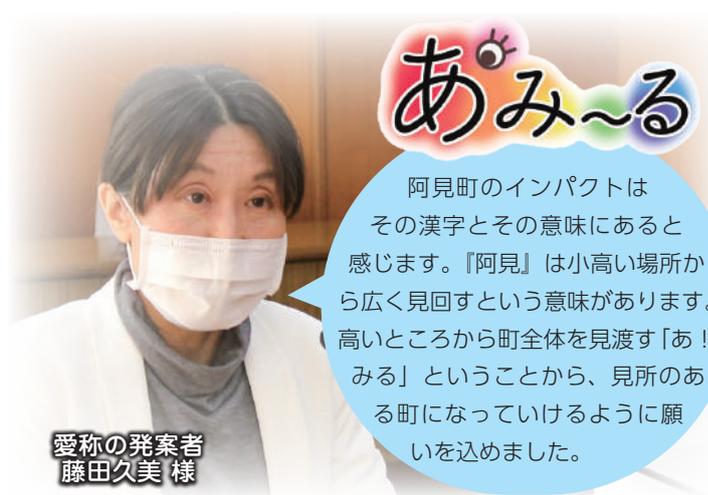
参加者のアンケートでも、「グループ分けでの町への提言、問題等を話し、それぞれの発表もあり、住民の意見を聞く場所があって参加して良かった」「議会の話が聞けて良いと思いました」等の意見をいただいた。

分散会では、グループごとの距離が近過ぎて話が聴きづらい等、いくつか問題点があったので、次回の議会報告会で改善していきたいと思う。



意見交換の様子 (一般)

議会だよりの愛称が決まりました



愛称の発案者
藤田久美様

あみ～る

阿見町のインパクトはその漢字とその意味にあると感じます。『阿見』は小高い場所から広く見回すという意味があります。高いところから町全体を見渡す「あみ～る」ということから、見所のある町になっていけるように願いを込めました。

前号で議会だよりの愛称を募集しましたところ、たくさんのご応募をいただきまして、誠にありがとうございました。選考の結果、阿見町在住の藤田久美さんの「あみ～る」が選ばれました。



感謝状贈呈式(1月17日)

阿見町議会モニター募集のお知らせ

議会モニターの目的 阿見町議会として、町民からの要望、提言、その他の意見を広く聴取し、議会改革・活性化の推進及び政策提案機能を強化することを目的に実施します。

議会モニターの活動

- (1) 会議の傍聴やYouTube阿見町議会公式チャンネル内のコンテンツの視聴をしていただき、議会の運営に関するご意見をいただきます。
- (2) 「あみ議会だより」や「阿見町議会ホームページ」などに関するご意見をいただきます。
- (3) 議長が依頼する町議会の運営に関する調査事項に回答していただきます。
- (4) 町議会議員と1年に1回以上、意見交換を行っていただきます。
- (5) その他議長が必要と認めることにご協力いただきます。

応募資格

- (1) 年齢満18歳以上の町民(本町お住まいの人)で、かつ、阿見町職員、議員または過去に国もしくは地方公共団体の議員でないこと。
- (2) 町議会のしくみや運営に関心があること。
- (3) 町政及び地域社会の発展に関心があること。

募集人員

20人以内

※選考の結果は、令和4年3月末までにご連絡いたします。

※申込書の応募理由をもとに、選考させていただきます。

※応募多数の場合は、年齢、性別、地域等のバランスを考慮の上、選考させていただきます。

任期

令和4年4月1日から令和5年3月31日

応募期間

令和4年2月1日から令和4年2月28日まで(必着)

応募要領

阿見町議会ホームページから申込書をダウンロードしていただき、郵送またはメールのいずれかで応募してください。

その他

町議会モニターの活動は無報酬となります。



次回定例会

3月1日(火)

本会議、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会、全員協議会は傍聴できます。

本会議は役場1階ロビーのテレビでもご覧いただけます。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

2021年はどのような年でしたでしょうか。

コロナ禍が続く大変な状況の中、男子ゴルフ松山英樹選手のメジャー制覇、東京オリンピック・パラリンピックの開催、メジャーリーグ大谷翔平選手のMVP受賞など希望あふれる出来事も多くありました。

2022年が皆様にとりまして、笑顔あふれる素敵な年になりますよう心から祈念しております。

石引 大介

あみ議会だより

編集委員

【委員長】

高野 好 央

【副委員長】

栗田 敏 昌

【委員】

難波 千 香 子

海野 隆

飯野 良 治

樋口 達 哉

石引 大 介